

■e-黒板ニュース（第18号）：IT活用教材標準化委員会シンポジウム他のご案内

e-黒板研究会では、今年度から、IT活用教材標準化委員会（代表：原久太郎氏）のご協力を得て、「e-教科書研究会」の活動を開始しました。「e-教科書研究会」は、e-黒板研究会の一つのワーキンググループとして活動し、「教科書を中心としたデジタルコンテンツの開発促進と開発のためのガイドラインの策定」を目指しています。

今回は、原久太郎さんから、「IT活用教材標準化委員会シンポジウムin愛知」のお知らせをいただきましたので、掲載させていただきます。

また、高知県立須崎高校の寺尾康先生からは、「情報教育サミットin世知原」のお知らせをいただきました。このイベントでは、電子黒板の活用が一つのテーマとなっています。寺尾先生には、今年3月のEスクエア・アドバンス成果発表会において、e-黒板分科会で電子情報ボードを活用した授業の事例発表をしていただきました。どちらもCECの後援イベントで、10月30日に、それぞれ愛知県と長崎県で開催されます。

今号の目次：

- =====
 1. イベントのお知らせ：IT活用教材標準化委員会シンポジウムin愛知(10/30)
 2. イベントのお知らせ：情報教育サミットin世知原(10/30)
 =====

お友達への再配信またはご紹介は、ご自由にどうぞ。また、配信中止のご連絡もお願いします。

会員の皆様からの投稿もお待ちしています。
 宛先はいつでも ekokuban@cec.or.jp です。

e-黒板研究会のホームページ

<http://www.cec.or.jp/e2a/ekokuban>

をご参照ください。e-黒板ニュースのバックナンバー等もご覧いただけます。

1. イベントのお知らせ：IT活用教材標準化委員会シンポジウムin愛知(10/30)

「IT活用教材標準化委員会 第2回シンポジウム in 愛知」のご案内です。
 テーマは、「標準化の事例研究1：作図ツールが数学教育に果たす役割」です。

IT活用教材標準化委員会（IT for Educational Method=略称「ITEM」）では、過日、7月16日に全体会を開きまして、多数の方々のご来場を賜りました中で平成16年度の活動計画を中心に会合を持たせていただきました。その後、8月には日本教育学会において講座を持つ一方、教科書会社各社様やパソコン教材メーカーなどの協賛企業と共に、より学校現場で求められるコンテンツの開発に向けて定期的に教科書、著作権ワーキンググループでの活動を行っております。

この度、以下の日程で名古屋市内において「ITEM 第2回シンポジウム in 愛知 標準化の事例研究1 作図ツールが数学教育に果たす役割」を開催致します。お忙しい中とは思いますが、万障お繰り合わせの上、ぜひご参加いただけましたら幸いに存じます。

ご参加の際には、お手数ですが、参加申し込み用紙に必要項目をご記入の上、運営事務局である(株)ラティオインターナショナル担当者までFAXでご送信ください。

IT活用教材標準化委員会

代表：原 久太郎

http://www.urap.org/item_hp/

<運営事務局>株式会社ラティオインターナショナル

コンテンツ事業部：菊池 義弘

〒113-0033 東京都文京区本郷5-1-16

TEL. 03-3815-3037 FAX. 03-3818-1219

イベント概要：

○会場：吹上ホール（名古屋市中企業振興会館）
<http://www.u-net.city.nagoya.jp/jigyuu/access.htm>
 4階 第3会議室（参加費無料）

○日時：2004年10月30日（土）
 午後1時30分～4時（開場1時）

○内容：

- ① 標準化の果たす役割と意義
 - ② 飯島康之氏による算数・数学作図ツールの講演会
 - ③ 教科書ビューアー及び作成ツールの概要及び実演
 - ④ 数学標準記述言語仕様（GCL）の概要
- <展示ブースでは、各社ソフトウェアの出展もごございます。>

参加申し込み用紙

FAX番号 03-3818-1219

IT活用教材標準化委員会事務局 行

*「ITEM 第2回シンポジウム in 愛知」に出席します。

*ご出席人数 名

ご氏名:

所属名:

ご住所:

e-mail:

TEL:

FAX:

吹上ホール(名古屋市中小企業振興会館)は、
<http://www.u-net.city.nagoya.jp/jigyuu/access.htm>
を参照ください。

(お車でおこしの場合は、駐車場代は事務局で負担致しますので駐車券を忘れずにお持ち下さい)

アクセス

- 名古屋駅から 名古屋駅→(地下鉄桜通線 野並行)→吹上
吹上5番出口から徒歩5分/名古屋駅からの所要時間 約25分
- 東名高速名古屋インターから
名古屋インター→今池交差点まで西進し、左折→中道交差点まで南進し、
右折→西へ約500m
東名高速名古屋インターからの所要時間 約40分
- 名古屋高速吹上出口、南東すぐ

2. イベントのお知らせ: 情報教育サミットin世知原(10/30)

高知県立須崎高校の寺尾 康と申します。

電子黒板(ライティングソフトなどの紹介)及び情報教育と人権のシンポジウムを
ご案内します。

<http://www.geocities.jp/scshot2/>

シンポジウムでは、パネリストに大塚 寿昭 総務省CIO(情報化統括責任者)補佐官:
川村文雄(財)人権教育啓発推進センターアドバイザーをお迎えしています。

(公開授業) 電子黒板やプロジェクターを用いた授業用のライティングソフトの紹介
(公開授業) MSAgentを持ちいた「ストーリーメーカーFORキッズ」を用いた心の教育
などがあります。

「情報教育サットin世知原」のご案内

10月30日(土)

電子黒板の活用や人権と情報教育についていっしょに考えませんか

シンポジウム「情報化は人を幸せにするか(人を幸せにするために)」

(コーディネーター)

山中 千枝子 高知県高岡郡越知町立越知小学校長

(元(財)高知県人権啓発センター次長、高知ワークショップをつくる会代表)

(パネリスト)

大塚 寿昭 総務省CIO(情報化統括責任者)補佐官

川村文雄(財)人権教育啓発推進センターアドバイザー

藤田 勇人 文部科学省初等中等教育局

寺尾 康 高知県立須崎高校(元高知県教育委員会情報教育推進課班長)

電子黒板&ドリルソフト

(公開授業) 電子黒板やプロジェクターを用いた授業用のライティングソフト
ストーリーメーカーFORキッズ

算数、国語、英語(テキストリーダー)等ドリルソフトの紹介

(各ソフトは、参加者用資料にCD-Rに収録しています)

1. 趣旨:

人と人とのつながり、助け合いの心を育て、人の努力と人の存在や思いへの共感を
育てる情報教育を創造する。

学ぶ意欲について、人々の努力と人生を通して考えることで他者理解と自己理解を
育み、ITの効果的な活用、学力の定着と学力の向上について「学びのあり方」を考
える。

2. 主題:「IT・人権・学力について」

○ITと学力

学力の定着と向上に必要なITの活用とは（e-黒板活用等）

○人権と情報化

情報化は人を幸せにするか（人が幸せに生きるために）

キーワード：

学ぶ意欲 学ぶ価値 学ぶ意味

自己肯定 人の思い 人の努力 他者への寛容

3. 主催：高知IT学習研究会
高知ワークショップをつくる会
4. 後援：（財）人権教育啓発推進センター、（財）コンピュータ教育開発センター
長崎県北松浦郡世知原町、高知県高岡郡越知町
5. 期日：平成16年10月30日（土）
6. 会場：長崎県立世知原少年自然の家（TEL0956-76-2769）
長崎県北松浦郡世知原町赤木場免17-2
7. 参加者：情報教育に興味のある人（教育関係者・保護者など）
8. 参加費：資料代（昼食代含） 1,500円
情報交換（夕食代含） 2,000円
資料等不要な方：無料
宿泊費等については、申し込み内容により違います。
9. 日程 平成16年10月30日（土）
10. 連絡先 梅原 雅史（高知県高岡郡葉山村立精華小学校）
TEL：0889-56-3214
申し込み：申し込みは下記のメールアドレスでも受け付けています。
電子メール：kochiit2004@yahoo.co.jp

以上

=====
編集・発行：財団法人コンピュータ教育開発センター 関 幸一
e-黒板ニュース 参加申込メールアドレス： ekokuban@cec.or.jp
e-黒板研究会 ホームページ： <http://www.cec.or.jp/e2a/ekokuban/>
=====